

委員会委員公募

委員会名 (所属部門) 【技術委員会】		等価変換理論の利活用と拡張深化 推進協同研究委員会 【知覚情報技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要、委員長のメッセージ等  等価変換理論は、元同志社大理工学研究所教授の市川亀久彌博士(1915～2000)が、1955年に提唱した日本発の創造性理論である。この創造性研究には、1940年代から、湯川秀樹博士(1907～1981)(1949年ノーベル物理学賞受賞)も関わって市川氏を援助し、等価変換理論として一応の確立に至った。  この等価変換理論において重視されている類推思考プロセスなどを知って振り返ると、歴史的に重要な発見発明等において、同様な思考プロセスや洞察の在ったことが随所に見られる。このような具体的事実を認知して行くと共に、教育界も含めた種々の分野でこの視点を意識した教育や、開発などの実践的活用を行いながら、等価変換理論の発展的継承を図る。
設置期間		2024年(令和6年)11月～ 2026年(令和8年)10月	
委員長名(所属)		服部 哲郎 (香川大学)	
委員会開催頻度		約4回/年	
問合 ・ 公募 受付 先	氏名 (所属)	服部 哲郎 (香川大学)	
	電話	090-5143-8064	
	FAX		
	E-mail アドレス	hattori.tetsuo@kagawa-u.ac.jp	
応募いただきたい方の専門分野、経験など		創造的発明などを志向する新規技術開発やシステム設計・開発の従事者で、新規開発のための方法論や着眼点に関心の有る方、また過去の科学技術史と発展契機に関心が有り、その知識を現在の研究に活かしたい方。または社内教育やSTEM (Science, Technology, Engineering, Mathematics) の学校教育において、創造性も触発しながら理解力向上を目指す教育に関心の有る方など。電気学会会員或いは入会して頂ける方は歓迎。	
応募締め切り		随時募集	
協同研究委員会の場合の委員の負担		0千円/2年	